

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
投資有価証券	39,400,000	(26,600,000)	(12,800,000)	—
小 計	39,400,000	(26,600,000)	(12,800,000)	—
特定資産				
退職給付引当資産	3,457,770	—	—	(3,457,770)
役員退職慰労引当資産	42,000	—	—	(42,000)
特定国際会議開催積立資産	2,500,000	—	(2,500,000)	—
特定記念事業積立資産	5,000,000	—	(5,000,000)	—
特定出版準備積立資産	1,500,000	—	(1,500,000)	—
新規国際会議開催積立資産	12,275,913	—	(12,275,913)	—
新規記念事業積立資産	6,901,000	—	(6,901,000)	—
新規出版準備積立資産	2,500,000	—	(2,500,000)	—
ベストオーサー賞積立資産	800,000	(800,000)	—	—
小 計	34,976,683	(800,000)	(30,676,913)	(3,499,770)
合 計	74,376,683	(27,400,000)	(43,476,913)	(3,499,770)

4. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	帳簿価格	時価	評価損益
国債 第260回他7銘柄	31,600,000	33,138,100	1,538,100
合 計	31,600,000	33,138,100	1,538,100